



県立図書館通信

令和5年7月号

(令和5年6月末発行)



佐賀県立図書館の蔵書の中から、高校生にお薦めの本を紹介します。

新刊図書



『赤い月の香り』

千早 茜/著

集英社/発行

資料コード 116422569

朔は人並外れた嗅覚を持つ調香師で、その洋館では依頼人の望む香りをオーダーメイドで作り出す仕事をしていた。朔のもとには、香りにまつわるさまざまな執着を持った依頼人が訪れる。香りを文学へと昇華させた、第6回渡辺淳一文学賞受賞作『透明な夜の香り』に続く、ドラマチックな長編小説。



『きみはサイコロを振らない』

新名 智/著

KADOKAWA/発行

資料コード 116458019

——人生なんて、しょせんはゲームだ。中学時代の友人の死が忘れられず、そんな信条で日々を淡々と過ごす高校生の志崎晴。同級生・莉久に頼まれ、不審な死を遂げたゲーマー男性の遺品を調べることに。呪いのゲームはどこにあるのか？その正体と晴の呪いを解く方法は——。



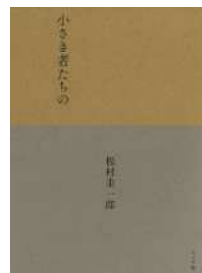
『アナロジア』

ジョージ・ダイソン/著

早川書房/発行

資料コード 116457425

0と1で世界のすべてを記述することは本当に可能か。カヤックビルダーとしても著名な科学史家が博覧強記を揮い、ライブニッツからポストAIまで自然・人間・機械のもつれあう運命を描く。



『小さき者たちの』

松村 圭一郎/著

ミシマ社/発行

資料コード 116420670

現代の歪みの根源を映し出す、今を生きる人たちが必読の生活誌。世界を動かしてきたのは、いつも、小さき者たちだった。はたらく、まじわる、くに…消えかけていた声を拾い、紡いだ、渾身の21編。気鋭の人類学者の新たな代表作

■編集■ 佐賀県立図書館 司書ネットワーク課 図書館・司書支援担当 (0952-24-2900)

◎この通信は県立図書館のHPにも掲載しています。蔵書検索もできます。

☞<https://www.tosyo-saga.jp/>

お問い合わせはこちらまで

高校図書館紹介

県立三養基高等学校

～生徒図書委員会で読書活動を盛り上げよう～

このコーナーでは、県内高等学校の図書館を紹介していきます。

今回は、三養基郡みやき町にある県立三養基高等学校図書館の活動です。

◆図書委員が雑誌コーナー・ミステリーコーナーを作成◆



最新号が目に残るように、入口を入ってすぐのところに設置しました。



手に取ってもらいやすいように、初心者向けや、実写化された本、人気のある本などを厳選し、特別コーナーを設けました。



◆文化祭「養基祭」での取り組み◆

本のPOPコンクールを実施しました。POPスタンドも手作りです。また、先生方の「おすすめBOOK」も掲示しました。



図書委員の活動の様子



生徒制作のPOP



POPスタンド&投票箱

図書室の先生“オススメの本”



『赤朽葉家の伝説』

桜庭 一樹/著

東京創元社/発行

【紹介文】鳥取の旧家に生きる3代の女達を取り巻くファンタジー・ミステリー。直木賞作家である桜庭さんの独特の筆致が魅力です。あまりミステリー作品を読まない人でも、きっと、壮大な世界観に引き込まれること間違いなしです。

図書委員“オススメの本”



『夢をかなえるゾウ』

水野 敬也/著

飛鳥新社/発行

【紹介文】関西弁を話すゾウの姿をした神様ガネーシャが、夢を叶えるために様々な課題を出す、笑いあり、涙ありの小説です。ガネーシャが出す課題1つ1つに意味があり、読めば読むほどはまります。「自分を変えたい」という人にお勧めです。